

# 鼠を取(捕)る飼い犬「六助」

倉林 恵太郎<sup>1</sup>

古代から幕末維新期までの伝説・伝承や史実の犬塚について、小佐々学が『日本獣医史学雑誌』や『日本獣医師会雑誌』に膨大な資料をもとに全国各地を調査した結果を分類して報告している。

筆者は数年前、東京都墨田区向島5-4-4 天台宗長命寺の境内で、今回報告する「六助」の石碑を初めて見た。長命寺のすぐ裏に、有名な「桜もち」の店がある。初めてこの碑を見たとき、上部の「鼠取養犬」が目についた。中間の碑文は細かい彫字で、ざっと見たあと、右側下部に、この犬の頭部をかたどる石像があることに気づいた。珍しさから興味が湧き数回視察し、写真を撮影した。写真と視察によ



犬養取鼠

六助塚

名六助資性剛毅自幼爲北新川酒問屋某家所飼養仕主忠実守家亦勤勉此犬有奇技能捕鼠凡鼠属之遇者概不免死其輕捷勝猫数等以是有鼠取六助之號數年間未曾加害於人爲衆被愛使卒然斃於屠犬者之手談家緣故之諸氏悲其不幸爲募資欲建碑以慰其穹魂余贊其拳叙其梗概云 千時 明治二十一年四月上浣

世話人

愛犬居士撰

北新川

小島平造

鳶 七兵衛

酒問屋某

藤宮元吉

全 辰五郎

店中

全 為吉

全 安五郎

全 竹次郎

全 千太郎

全 伊勢松

職方

<碑文の意訳> 鼠を捕る飼い犬 六助の塚

KURABAYASHI Keitaro : The Pet Dog "Rokusuke" which Caught Mice

1. 連絡先：倉林動物病院 〒176-0022 東京都練馬区向山4-2-33

(2014年8月20日受付・2014年9月10日受理)

り、文字のほとんどを書き取れた。以下が碑文であるが、二行目の「六助塚」以下は縦書きである。石碑の高さ152cm、犬の頭部は幅20cm、長さ28cmである。

名前は六助、生まれつきの性質は強く、ものごとに屈せず、幼いときより北新川のある酒問屋で飼われていた。飼い主に対して忠実で家を守り、また勤勉であったが、この犬は鼠を取る珍しい技能を持っていた。おおよそ、鼠の類に遭遇した場合、数々の猫より身軽ですばやさぎが優り、鼠は死をまぬがれることはなかった。これをもって六助は鼠を取り、数年間、人に対して被害を加えなかった。突然、屠犬者によって斃死した。縁故の皆様が悲しみ、その不幸のため資金を集めて碑を建てて、その魂を慰さめた。そのあらすじを云う。

ときに明治二十一年四月上旬 愛犬居士撰

北新川 酒問屋某 店中 世話人 小島平造 藤島元吉 鳶 七兵衛  
全 辰五郎 全 為吉 全 安五郎 全 千太郎 全 伊勢松 職方中

この六助は、屠犬者によって殺害されたもので、この時代は各地で事件はあったが、戦争なく畜犬を供出することなど考えがたい。その上、供出する時代であれば石碑を建立して賞賛することも出来ないと思考する。

施主の地名「北新川」は、現在のどこかを調べるために、墨田区立緑図書館(墨田区緑2-24-5)に行き調査を試みた。緑図書館より直ちに多くの資料を受けた。江戸では酒が多く飲まれ、とくに関西の酒は澄んでいるので愛好された。馬の背に振分けて箱根を越えた。また河村瑞賢が掘作して新川を造り、船で輸送され「酒は新川」といわれ霊岸島から新川一帯が港町として発展、荷上げに便利のため酒問屋が集中した(中央区企画部広報課編集・発行)。そのほか望月由隆著の「新川物語」より現在の永代通りの南側にかつて並行して「新川」があって、新川の南側の新四日市町が「北新川」、南側の新銀町が「南新川」と記されていることから、北新川は現在の永代橋西側、中央区新川1丁目付近であると思考する。新川は豪商の河村瑞賢が開鑿した。永代橋西側に新川公園(中央区新川1丁目)があり、この公園に「新川之跡」の碑があり、橋の石材のようなものが一つある。したがって、この石碑の施主と長命寺の直線距離は約5.5kmである。

## 謝辞

長命寺のご住職にご多忙の中お会いして、この碑の由来をお尋ねしたところ、関東大震災で消失して全く不明で、先代様よりこの犬の種類は「秋田犬」である

ことだけをお聞きになっておられるとのことでした。

この碑文について、詩吟でご指導いただいている、文学博士村田榮三郎先生に意識をしていただきましたので深謝いたします。

施主の地名調査について、ご多忙のところ多くの資料を提供して下さった東京都墨田区立緑図書館の佐々木純子氏に深謝いたします。いただいた資料にもとづいて、東京都中央区立京橋図書館地域資料室にて「新川物語」を教示いただきました。併せて深謝いたします。

## 文 献

- 1) 小佐々学：犬塚関係調査報告，日本獣医史学雑誌34・38～41・43～45号（1997～2008）
- 2) 小佐々学：日本愛犬史，日本獣医師会雑誌66巻1号（2013）
- 3) 東京都中央区企画部広報課：中央区区内散歩 史跡と歴史を訪ねて（1995）
- 4) 望月多嘉：新川物語 酒問屋の盛衰，文藝春秋企画出版部 初版第1刷（2010）